

## 地震被害想定ARアプリを配信します

1日、杉並区は「杉並区地震被害想定AR」アプリケーションを配信しました。これは区が28年度・29年度に実施した地震被害シミュレーションの結果をアプリに反映させたもので、災害時における区内各所の被害をAR（拡張現実）で確認することができます。

杉並区では、今後30年以内に約70%の確率で発生すると予測されているマグニチュード7クラスの首都直下地震に備え、さまざまな防災事業に取り組んでいます。こうした事業に区民が自分事として取り組んでもらうため、29年度に地震被害シミュレーションの結果を公表しました。これは、首都直下地震の中でも区内の被害が最大とされている「東京湾北部地震」マグニチュード7.3を想定し、区内建築物の耐震化・不燃化などの状況や区が保有する地盤データなどを活用して、震度予測や被害想定、減災対策の効果について、50メートルメッシュ単位のシミュレーションを行ったものです。

そして区は1日、新たなシミュレーション結果（避難者予測・ライフライン被害等）の公表に併せ、より視覚的に災害の状況を知ってもらえるよう、シミュレーションの結果をARで確認できるアプリを配信しました。

この杉並区地震被害想定ARアプリは、GPS情報と連動していて、カメラで撮影された実写の映像と地図に、その場所の防災情報を合成して表示します。カメラの向きを変えると、その方向に合わせ表示内容が変わり、使用者の動きに追従します。実写の映像には、全壊・半壊被害や避難者予測、ライフライン被害などが被害レベルによって色分けされるほか、被害様相を連想させるアニメーションが表示されるため、今自分がいる場所にどのような被害リスクが潜むのか、事前に分かりやすく知ることができます。



このアプリはiPhoneやAndroidなど、タブレット端末のアプリストアで「杉並区地震被害想定AR」と検索してインストールできるほか、防災地図アプリ「すぎナビ」からもダウンロードすることができます。

### 【問い合わせ先】

都市整備部市街地整備課：03-3312-2111（代表） 内線 3366  
総務部防災課：03-3312-2111（代表） 内線 3618  
総務部広報課：03-3312-2111（代表）